

日本伝熱学会関西支部 第19期定時総会、 支部設立20周年特別講演、第1回講演討論会

日時:平成25年5月2日(木) 13:00~20:00

会場:大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館

13:00~13:30 関西支部第19期定時総会 (参加者数: 名)

13:30~15:10 支部設立20周年特別講演会 (参加者数:73名)

「研究の転機と思い出—輸送現象からプロセス強化へ—

平田 雄志 氏(大阪大学)

関西支部設立当時の経緯について、詳しい資料を用いてご説明いただいた後、輸送現象を背景としてプロセス強化の観点から行われたご研究(①ケミカルヒートポンプ、②電気泳動を用いた希土類元素の分離、③往復式攪拌のカオス現象)について、アイディアの着想から実験結果まで詳しくご説明いただきました。

「ガスタービン伝熱技術の40年の歩み」

武石 賢一郎 氏(大阪大学)

ガスタービンの冷却技術について、国内外における開発の歴史を貴重な資料を交えてご説明された後、高効率なプラントを目指した高温ガスタービンの動翼および静翼の冷却技術開発について、企業におけるご経験と大学における基礎研究(実験技術と数値伝熱学(CHT))についてご説明いただきました。

15:20~17:20 第1回講演討論会

「離散気泡モデルによる二相流ダイナミクスに関する研究」

網 健行 氏(関西大学)

水平細管内液液二相流や流動脈動下における沸騰二相流に対して離散気泡モデルを適用した際の、流動様式の遷移、ボイド率変動挙動について紹介して頂きました。

「気液二相流計測の高度化及び京大炉での二相流研究」

伊藤 大介 氏(京都大学)

気液二相流の高精度計測や京大炉における中性子イメージング、放射線による濡れ性制御などの二相流研究についても紹介して頂きました。

「ふく射輸送に注目した生活環境の改善について」

熊野 智之 氏(神戸高専)

人体と壁とのふく射輸送量制御による冷暖房効果に対して、壁面の放射率に注目したふく射冷暖房の効果向上ための研究について紹介して頂きました。

講演討論会終了後、講演者をお招きし、大阪府立大学 生協食堂にて活発な意見交換を行いました。(懇親会参加者数:38名)



集合写真



平田 雄志 氏



武石 賢一郎 氏



網 健行 氏



伊藤 大介 氏



熊野 智之 氏